



みみ

耳よい

メール

国立病院機構 相模原病院 広報誌
平成30年9月30日号
発行：国立病院機構 相模原病院
発行責任者：金田 悟郎
住所：相模原市南区桜台18-1
電話：042-742-8311（代表）
F A X：042-742-5314

第78号



▲ 篠栗九大の森（福岡県糟屋郡篠栗町）に立つ落羽松 撮影：看護部 井上 清江

第78号 目次

- ◆ 「相模原病院に就職して」…………… 2
- ◆ 「～消防訓練を行いました～」…………… 3
- ◆ 「可愛い♡わくわく♡
小児アレルギー行事食のご紹介」…………… 4
- ◆ 「2018年度 相模原病院納涼祭」…………… 6
- ◆ 「職員募集のご案内」…………… 7
- ◆ **連載** 近隣協力医療施設の紹介コーナー
座間市 座間駅前「座間整形外科」…………… 8



SAGAMIHARA
NATIONAL
HOSPITAL

私たちは患者の皆さまの
人権を尊重し、
十分な説明と同意に基づ
き親切で心のこもった医
療を提供します。

「相模原病院に就職して」



1階北病棟
看護師 花牟禮 佳那

私は1北病棟に勤務しています。1北病棟は、神経内科・リウマチ・リウマチ整形外科の混合病棟です。人工呼吸器を使用して動けない患者さんや自立している患者さんなど様々な治療や看護を必要とする患者さんが入院しています。ひとりひとりに合わせて観察や検査・治療が異なるため沢山の勉強が必要であり、自分の未熟さを感じながら毎日仕事や学習に取り組んでいます。また表出できない患者さんの思いや苦痛をどのように読み取り関わるができるか、毎日思考錯誤しています。まだまだ看護師として患者さんへの適切な看護が行えず悩むことも多いですが、師長を初め、実地指導者やその他のスタッフの方々はとても優しく、時には厳しく指導やアドバイスをして下さり、毎日沢山の学びを得ることができています。

休みの日は同期と集まり、それぞれの悩みを相談したり、リフレッシュのため遠出をして仕事と休日にメリハリをつけ毎日を楽しんでいます。これからも日々成長できるよう患者さんとの関わりを大切に、患者さんの思いに寄り添った看護を実践していきたいです。



病棟スタッフと一緒に！



2階南病棟
看護師 久留 梓美

私は2南病棟に勤務しています。2南病棟は、循環器内科、リウマチ科、外科、脳神経外科の患者さんが入院しています。入職して間もない頃から、先輩看護師の働く姿を見て、自分も1人前になれるのかという不安を持ちながら3ヶ月が過ぎました。現在、先輩看護師の支援を受けながら仕事を行っています。勉強した事を日々の看護に活かすことができ、少しずつですが成長を実感しています。また、上司や先輩看護師の支援もあり、大変な中でも楽しく働くことができています。まだまだ未熟ではありますが、このような環境にあることに感謝しています。私は看護学生時のインターンシップで患者さんひとりひとりに寄り添った看護をしていることに魅力を感じこの相模原病院を選びました。私もそのような看護が提供できるように、これからも知識・技術の向上に努めていきたいと考えています。



2南病棟、新採用者4名です！

～消防訓練を行いました～

経理係長 山田 裕次

当院では、法令に基づき毎年2回消防訓練を行っております。本年は6月8日に夜間を想定した消防訓練を実施いたしました。具体的には、勤務者の少ない夜勤帯である午後7時に3階北病棟にて火災が発生したことを想定し、訓練を行いました。主な訓練内容は、通報連絡訓練、初期消火訓練、避難誘導訓練、応急救護訓練、指揮本部訓練になります。

私は初期消火の担当で、事務当直室より出火元の病棟に消火器を持って急行しました。相模原病院での初めての消防訓練ということで、張り切って臨みましたが、思いのほか消火器が重く3階まで階段を駆け上がり現場に着く頃には、へとへとになってしまい日頃の運動不足を痛感しました。何とか無事たどり着き初期消火を開始、消火班の到着を待ちつつ、模擬患者の避難誘導を行いました。その後、避難場所までの模擬患者の避難が完了し、消火班は本部に初期消火を行い鎮火したことの報告をして訓練終了となりました。

引き続き消火栓取扱訓練が行われ、査察に来ていただいた相模原南消防署により、屋内消火栓と消火器の取扱い方法と消火器を用いた初期消火訓練が行われました。参加した職員も積極



消火訓練の様子

的に消火器を手に取り訓練に励みました。

最後に相模原南消防署より講評がありました。今回の訓練では、全体的に落ち着いて対処できていたと評価をいただきました。一方で、避難誘導に関しては、もっと早く行うべきとの指摘があり、今後の課題となりました。

今回の消防訓練を通じて思ったことは、実際の災害はいつ起きるかわかりません。また予測できないことが起きることも十分考えられます。そんなときでも冷静かつ迅速に対応し、患者さまの命を守るには職員一人一人が災害時に何をすべきかを考える必要があると認識しました。

私は訓練以降どこに消火器が設置されているか確認するようになりました。

みなさんも自身の職場や、その周辺のどこに消火栓や消火器が設置されているか、また非常口がどこにあるかを把握しておくことで、災害時に冷静かつ迅速な対応が可能となるのではないのでしょうか。



当日の訓練風景



講評の様子

可愛い♡わくわく♡小児アレルギー 行事食のご紹介

栄養管理室

当院は、アレルギー疾患医療の中心拠点病院であり、食物負荷試験を目的に多くのこども達が入院します。給食全体の提供数は1日に約800食、その内食物アレルギー食が占める割合は約3%と、他院に比べて食物アレルギー食の提供数が多いことが特徴です。

相模原病院の食物アレルギー食について、これまでの経緯を少しお話ししたいと思います。さかのぼること5年前、食物アレルギーにより普段から食事制限のあるこども達に、美味しく、笑顔になれる食事を提供したいという気持ちから、米粉の配合や焼き方などにこだわった「手作り米粉パン」を開発しました。今では定番人気メニューであるこの米粉パンをきっかけに、アレルギー食充実のため、一歩ずつ取り組みを継続してきました。

今回は、今、最も力を注いで行っている「行事食」について紹介したいと思います。

食物アレルギー食は、各々のアレルギーに応じて、卵・乳・小麦などのアレルゲンを除去することが基本になりますが、1つだけでなく多数の食物にアレルギーを抱える事も多く、使用できる食品の幅は一般食に比べ当然狭くなります。でも、そこは腕の見せどころ…。管理栄養士・調理師で協力し、味だけでなく見た目にも配慮して、「可愛らしく楽しめる食事」をコンセプトに、毎回納得いくまで相談と試作を繰り返しながら献立作成を行っています。一般的な季節の行事だけでなく、こども達が好きな動物や人気キャラクターも取り入れ（図1）、こども達の喜ぶ顔を思い浮かべながら、心をこめて調理を行います（図2）



（図1）小児アレルギー行事食



（図2）行事食の盛り付け風景

食物負荷試験目的の入院は1～2日の短期入院が基本であり、月に1度の行事食では行事に当たる機会も限られてしまうため、月に数回提供できるようにしました。その結果、より多くのこども達に行事食を食べてもらえるようになりました。

食事には、行事食カードと共にレシピカードも添えています（図3）。行事食カードは、立体的に飛び出すものや、しおりになるものなど、遊びの要素も取り入れ趣向を凝らして作成しています。

レシピカードは、行事食で提供した料理やおやつを自宅でも作れるよう、保護者の方向けに配布しています。このような工夫もあり、カードを大事に持ち帰っていただくことや、調理手順や作り方のコツについて質問を受けることも多く、管理栄養士と保護者との会話のきっかけになっています。こども達からは、蓋を開けた

瞬間に歓声があがる、普段あまり食べない料理も食べる姿が見られる、食物負荷試験を頑張った甲斐があったと前向きな発言が聞かれることもあります。保護者の方からも、食事の写真を撮るなどの反応があり喜んでいただけていることは、とても嬉しい瞬間であり、今後の食事作りへのモチベーションにも繋がっています。

さらに、個室を利用される場合は、+αのサー

ビスを行っています。手作りおやつのでーナッツやラムネなど(図4)、ラッピングにもこだわり可愛く仕上げたものの他、行事食以外の通常メニューもひと手間かけた食事を提供しています。

これからも、管理栄養士・調理師で力を合わせ、新しいレシピの考案や、より喜ばれる食事の提供を目標に、取り組みを継続していきたいと思えます。



行事食カード



レシピカード

(図3) 行事食カードとレシピカード



米粉ドーナッツ



手作りラムネ



米粉どら焼き

(図4) 行事食や個室で提供しているおやつ

2018年度 相模原病院納涼祭

経営企画係長 上後 剛範

去る7月26日（木）、相模原病院の夏の恒例行事である納涼祭を病院職員や職員の家族、過去に当院に在籍されていた方々、近隣住民の皆様、多数の方々の来場により盛大に開催いたしました。

この納涼祭は平成4年より毎年夏に実施しております。当初は職員の福利厚生およびコミュニケーションの場として開催しておりましたが、基本的には「縁日を病院で」というコンセプトのもとに行っていたため、現在では職員家族、入院および外来患者さま、近隣の住民の方と完全にオープンなお祭りを病院のレクリエーション委員の方々が中心になって開催し、みなさんに楽しんでいただくことが目的となっております。



納涼祭当日は連日の記録的な猛暑から開放され曇り空となり、天候的には過ごしやすい気候の中行われました。会場には開会前から既に沢山の方が来場しており、焼きそばや焼き鳥をつまみにお酒を飲んで雰囲気を楽しんでおりました。

安達副院長の開会挨拶の後、たんぽぽ保育園の園児や先生方による見事な和太鼓・ソーラン節により会は始まりました。

当院の納涼祭は毎年、職員が趣向を凝らした様々なパフォーマンスを行うことが特徴となっております。今年は看護師長会、各病棟による熟練されたダンス等パフォーマンスの披露で会場は大いに盛り上がりました。途中豪華景品が当たる抽選会を挟んで、大トリで登場した金田院長率いる「金ちゃんバンド」の演奏により会場のボルテージは最高潮となり大盛況であったという間の3時間となりました。

金田院長の閉会挨拶後に行われた花火では、当院職員の花火師（花火師免許を取得）による恒例の打ち上げ花火と圧巻のナイアガラでフィナーレとなりました。

当院では来年以降も毎年納涼祭を実施し、職員及び地域の方々との交流を深めていきたいと思っておりますので、今後とも相模原病院をどうぞよろしく願いいたします。



職員募集のご案内

募集職種、人数	業務技術員【看護助手】（非常勤職員） 若干名	事務助手【病棟・外来クラーク業務】（非常勤職員） 若干名
採用時期	随時～平成 31 年 3 月 31 日まで （雇用期間は、1 事業年度です。繰り返し採用できる 回数は最初の採用を 1 回とし、原則 3 回までとなります。） ただし、その後も契約更新の可能性あり。	随時～平成 31 年 3 月 31 日まで （雇用期間は、1 事業年度です。繰り返し採用できる 回数は最初の採用を 1 回とし、原則 3 回までとなります。） ただし、その後も契約更新の可能性あり。
職務内容	外来・病棟での看護師業務の補助 （例）患者搬送、物品清掃、シーツ交換 体位交換（看護師と共同で実施）、環境整備 等	病棟および外来におけるクラーク業務 （例）入院受入れ補助、基本情報入力 書類作成補助、患者、家族、外来者への対応等 （電話対応、窓口対応） 患者搬送、検体搬送等 ※初心者の方も親切に指導いたします。
勤務時間	7 時 00 分～18 時 45 分のうち 7 時間 45 分（休憩時間 60 分） 1 日 7 時間 45 分・週 4 日勤務（週 31 時間） ※ソフト制勤務のため、土日祝日の勤務あり。 夜勤可能者歓迎！	8 時 30 分～17 時 15 分の間の 7 時間程度 （休憩時間は勤務時間に応じて 30～60 分あり） 1 週間当たり 32 時間以内の勤務
給与等	【時間給】 1,210 円 【手当】 通勤手当（通勤実態に応じて規定により支給）	【時間給】 1,200 円 【手当】 通勤手当（通勤実態に応じて規定により支給）
提出書類	履歴書、職務経歴書等	履歴書、職務経歴書等

★ 2 職種共通事項

応募方法	月曜から金曜（8 時 30 分～17 時 00 分）の間に電話連絡の上、提出書類を郵送して下さい。 書類選考の後、面接日をご連絡いたします。
書類送付先	〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台 18-1 独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 管理課給与係長 中澤 TEL 042-742-8311 FAX 042-742-5314
その他	上記募集内容の詳細をお知りになりたい方は、上記書類送付先担当者までご連絡下さい。 応募書類は返送いたしませんので、ご了承下さい。 提出書類は封筒に「○○○○○○○（←該当職種名）応募書類」と朱書きしてお送り下さい。

連載

近隣協力医療施設の紹介コーナー

座間市 座間駅前

「座間整形外科」



院長

井澤 敏明 先生

当院は小田急小田原線座間駅に隣接するビルにある整形外科専門のクリニックです。日頃より相模原病院の皆様には大変お世話になっておりこの場を借りて心より感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

クリニックに来て下さる患者様の年齢や活動レベルは非常に幅が広いですが、それぞれの方の背景に沿った治療を行っていくことが重要となります。2025年問題が話題に上がるようになって久しいですが、高齢化社会において本当に大事なのはただ長生きをするのではなく生活の質（QOL）を高く維持することです。その中で運動器機能は重要な要素となります。疾患に対するアプローチも、疾患の「治療主体」から疾患の「予防」に意識が強く向けられるようになりました。医療機関に行き、安静と痛み止めでは一度症状が落ち着いても再発の可能性があります。

いかに早く痛みをとるか、治療していくかはもはや当たり前の目標で、それと同時に運動器の能力を向上させ症状を再発させないように、どのように予防していくか。当院ではここに力を注いでおり、けがをした子供から中高年の方にも無理なく出来るリハビリプログラムがございます。そして治療だけで終わるのではなく、自宅でやりたい運動やエクササイズなどを提供させて頂いております。



小さなクリニックではございますが、大きな信念と向上心を持って地域の患者様のために頑張っていきたいと思っております。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



【座間整形外科】

診療科：整形外科、リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	●	○	—
15:00 ~ 19:00	○	○	●	●※	●	△	—

△土曜日午後は14:00～17:00まで

●は、一般外来とスポーツ外来（完全予約制）

※第1・第3・第5木曜（15:00～18:00）はスポーツ外来

休診日：日曜日、祝日

電話：046-298-0505

F A X：046-298-0506

HPアドレス：<http://www.zamaseikei.com/>

住所：〒252-0024

神奈川県座間市入谷5-1684-3

座間駅前クリニックビル2F

